

あいさつ運動等を通して児童・生徒の基本的な生活習慣を育てる

ねがい

〈目的〉

きまりを守り、何事にも進んで取り組める児童・生徒を育てるために、小豆島町内の保・幼・小・中で「あいさつ・返事」の活性化を共通目標として、各校ごとに工夫して取り組むことにしました。

〈内容〉

つながり

● あいさつ強調週間・強調日の設定

内海中学校区の小中学校では、以前から生徒会や児童会を中心に各学校であいさつ運動に取り組んでいます。本年度は、あいさつ運動の強調週間や強調日を各学校で必ず設けて、あいさつに対する意識を高めることを共通の目標にしました。

● 各校におけるあいさつ運動の実践

【内海中学校】

毎朝、生徒会役員と各部活動単位で当番を決めて行っています。強調日には全校生に呼びかけ、自主的に生徒たちが参加しています。生徒玄関前に、あいさつゾーンを設け、そこを通過する生徒に対して、大きな声であいさつをします。



【内海中学校のあいさつ運動】



【星城小学校のあいさつ運動】

【星城小学校】

当初は児童会があいさつ運動を行っていましたが、2学期からあいさつの輪を広げるために全校生に呼びかけました。低学年を中心に参加する児童が増えています。

【安田小学校】

毎月の最終週をあいさつ強調週とし、児童会が中心となって児童玄関前に立ち、全校生にあいさつを呼びかけています。あいさつ運動に参加した児童には、意欲を高めるためにシールを渡しています。



【安田小学校のあいさつ運動】



【苗羽小学校のあいさつ運動】

【苗羽小学校】

児童会役員だけでなく、ボランティアや各学級で決めた当番などであいさつ運動を行っています。毎朝、たくさんの児童が参加し、全校的な取り組みになっています。

高まり

〈成果〉

あいさつ運動を行うことで、あいさつができる児童・生徒が確実に増加してきました。強調週間や強調日を設け、自主的に参加をする児童・生徒も増加しています。毎朝、大きな声であいさつを交わして気持ちよく1日が始まり、その日1日の授業にも集中して取り組んでいます。児童・生徒の規範意識も高まっています。